

## 4 計画の進行管理

### — 政策のマネジメント・サイクルの確立 —

社会情勢の変化に的確に対応し、県民の皆さんや市町村などとの協働・連携による計画の着実な推進を図るためには、適切な進行管理を行い、その内容を県民の皆さんと共有しながら、政策運営を進めていく必要があります。

そこで、計画でお示した「めざすすがた」の実現に向けて、政策評価を総合的に実施し、評価結果に基づいて翌年度の政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」を確立し、県の取組みをより効率的・効果的に進めていきます。

このため、

(毎年度のサイクル)

- ① 毎年度終了後、戦略プロジェクトの目標の達成状況や事業の進捗状況などについて、県としての一次評価(自己評価)を行ったうえで、「白書」として取りまとめます。
- ② 公募の県民や有識者により構成される総合計画審議会で二次評価(第三者評価)を取りまとめるとともに、白書を公表し、広く県民の皆さんから意見の募集を行います。
- ③ 二次評価の結果をもとに、政策運営の改善方向や新たな課題を抽出し、県の担当部局で検討し、「政策レビュー<sup>注1</sup>」を行います。
- ④ 翌年度の政策全般の方向性を整理します。
- ⑤ 政策レビューの結果を翌年度の予算に反映することにより、評価の結果を翌年度以降の政策運営に反映します。
- ⑥ 継続的に県民の皆さんからの意見をいただきながら、事業実施を図ります。

(4年間のサイクル)

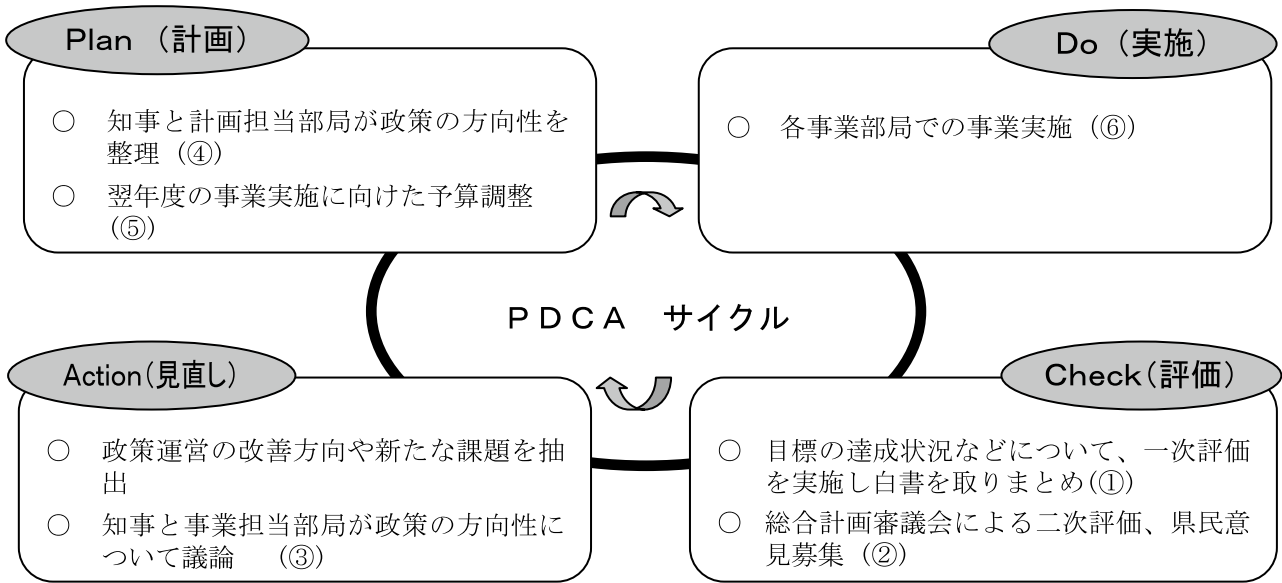
- ⑦ 4年間の計画期間の中で、中間年である2年目と、最終年の4年目には、政策全般を点検(ローリング<sup>注2</sup>)し、必要に応じて、重点的・優先的な取組みである戦略プロジェクトの見直しを行います。また、最終年の4年目の点検の成果は、次の計画策定に生かします。
- ⑧ なお、計画の推進を図っていく中で、県が取り組む様々な課題について、総合計画審議会の専門部会において、公募の県民の皆さんによる「ワークショップ<sup>注3</sup>」なども開催しながら、対応の方向性を検討します。

注1 「レビュー」は、討論、評論、評価を意味します。県では翌年度の予算編成作業を10月頃から進めるため、6～8月の期間中に知事と県庁の事業担当部局が翌年度の政策の方向性について議論を行う場を「政策サマーレビュー」、9月頃に知事と計画の担当部局が最終調整を行う場を「政策オータムレビュー」としている。

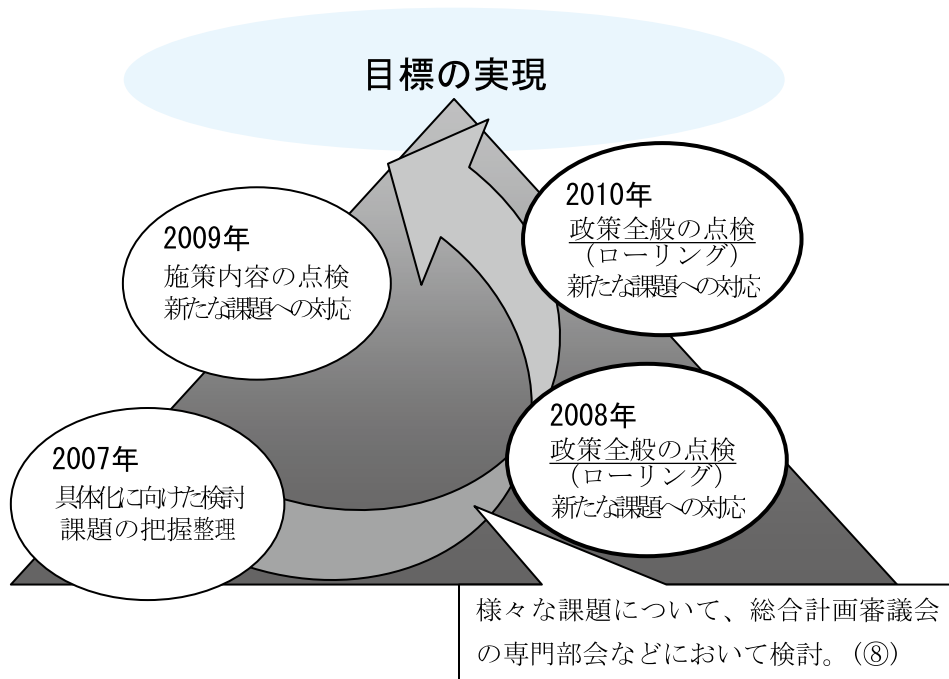
注2 一定期間ごとに計画を点検し、計画と実績とのずれがある場合に計画の内容を見直すこと。

注3 あるテーマについて、専門家の助言などを受けながら、参加者が自由に意見を交換し、課題の解決に向けて検討を行う研究集会。

## 政策のマネジメント・サイクルのイメージ



## 4年間のサイクルの視点 (⑦)



### 政策とは

政策とは、県が特定の行政課題に対応するために行う基本的な方針であり、政策を実現するための具体的な方策（施策）や、施策を実現するための個々の具体的な取組み（事業）から構成されます。県では、政策のマネジメント・サイクルの確立に向けて、重点的・優先的に取り組む38の「戦略プロジェクト」を中心に、構成する施策、事業も含めて総合的な評価を行ってまいります。

